

臨床腫瘍部初期臨床研修

2022年度版

(27) 臨床腫瘍部（腫瘍内科）

当科の特色

がん薬物療法・がんゲノム医療と緩和医療を学ぶ！

当院のがん診療は「総合がんセンター」が各診療科のサポートを行っています。同センターはがん診療のあらゆる側面に対応しています。臨床腫瘍部では当院のがん診療がスムーズに進むよう、総合がんセンターの運営を担っています。中でも、最近のトピックスである**がんゲノム医療は当部**中心に行われます。さらにチーム医療が行われる緩和ケアも当部が中心となり、質の高い**緩和医療**を提供しています。日々の緩和ケアラウンドで全人的医療を習得します。

魅力ある研修内容

新たながんに対する治療薬を選ぶ試みとしてがんゲノム医療が始まっています。先進的な診療で、現時点では限られた施設でしかおこなっていませんが、臨床腫瘍部の研修ではがんゲノム外来を担当することにより、がんゲノム医療の実際を学べます。具体的には検査前説明、ゲノム情報のレポート解釈、エキスパートパネルでの症例提示、結果説明を行います。

緩和ケアは全ての医療従事者が提供する必要のあるものです。がん患者は身体的なもの以外にも様々な苦痛があり、全人的なケアが求められます。緩和医療専門医、緩和ケア認定看護師、緩和薬物療法認定薬剤師、**臨床心理士**、**社会福祉士**などで構成された緩和ケアチームでの活動を通じて、一般的な緩和ケアから専門的な緩和ケアについて学べます。

到達目標(1カ月)がんゲノム医療

がんゲノム医療は、がんの本質を解明し、新たな治療を探索する試みです。本研修ではがんゲノム医療の実際を体験します。そこで、がん細胞の遺伝子変異を解釈する力を養い、個々の変異に基づいた正確な治療選択を提案できるようになります。

到達目標(1カ月)緩和医療

緩和ケア研修の目標は、鎮痛薬の使用法、不眠不穏への対応、患者への共感法、チーム医療の運営について理解することです。緩和ケアチーム診療への参加によりオピオイドの使用法、患者の様々な悩みへの対応法を習得します。

がんゲノム医療・緩和医療の両者を同時に研修することが可能です。さらに余裕のある研修医にはがんプロの研修企画や講演会への参加、臨床研究なども体験してもらいます。科の特徴から希少がんを扱うことが多く、症例報告を行うなどの研究活動にも従事してもらいます。

研修スケジュールなど

がん薬物療法・がんゲノム医療

	月	火	水	木	金
午前	化学療法外来	がんゲノム外来	化学療法外来	化学療法外来	がんゲノム外来
午後	教授回診 院内エキスパネル	病棟実習 院外エキスパネル	病棟実習	外来化学療法センター	病棟実習

緩和ケア診療

	月	火	水	木	金
午前	病棟実習	病棟実習	緩和ケアアラウンド	病棟実習	病棟実習
午後	緩和ケア外来	緩和ケアアラウンド	病棟実習	緩和ケアカンファレンス	緩和ケアアラウンド